

意見交換会・管内視察報告書（厚生委員会）

提出日： 令和5年8月5日

議員名	真田 光夫
日時	令和5年7月28日（金）
場所	兵庫県相生市
相手先	兵庫県相生市
成果・所感等	
<p>(1) 相手先の意見（聞き取り内容） 人口：27,629人、面積：90.40k㎡、予算：136億4,000万円</p> <p>子育て応援都市宣言 「定住・子育て支援事業について」</p> <p>平成17年3月：「相生市財政SOS宣言」を行い、 「行財政健全計画」を策定、平成18年4月よりスタート</p> <p>○当初予算額を約20%削減した</p> <ul style="list-style-type: none">①市民への受益者負担（約267万円の増収）②投資的経費事業の見直し（約20億円の削減）③繰上償還等による市債残高の削減（約2億9000万円の減少）④職員数、人件費の削減（43人減らし、約3億5000万円の削減）⑤下水管理センター、図書館業務などの民間委託⑥財政調整基金積立金の増加（約7億5000万円の増加） <p>結果：第1期計画目標は達成。その効果は27億6000万円 その中で、「将来の人口減少」が最重要課題として浮き上がる。</p> <p>課題解決として「地域活力向上」活力ある元気な相生づくりを掲げる</p> <ul style="list-style-type: none">①人口減少対策：転出抑制と転入促進による人口の社会減対策②教育・子育て・少子化対策：教育環境や子育て環境の充実③産業の活性化対策：企業誘致や市内の経済の活性化 <p>→積極的なPRを展開（JR列車の中釣り広告、テレビCM等）</p> <p>平成23年4月：「相生市子育て応援都市宣言」を行う。</p> <p>子どもは次代を担うかけがいのない存在であり、子どもたちが夢と希望をもち、健やかに育つことは、わたしたちの願いです。子どもを産み育てやすい環境をつくり、心豊かなたくましい人を育てることは、わたしたちの使命です。わたしたち相生市民は、子どもの笑顔があふれ、子育てに喜びを実感できるよう、家庭、地域、学校、行政みんなが手を携え、地域全体で子育てを支えるまちを目指し、ここに「子育て応援都市」を宣言します。</p> <p>あいおいが暮らしやすい「11の鍵」</p> <ul style="list-style-type: none">①あつまれ新婚さん新生活応援金（定住促進室）2400万円 市内で若者新婚世帯が新生活を始める際の住宅費用を、最大60万円補助する。加えて、継続して市内に3年間住み続けた場合、15万円を追加交付する。②住宅取得奨励金（定住促進室）1200万円 市内に住宅を新築または購入した40歳未満で夫婦または養育している世帯に25万円を助成する。	

③妊活カップル応援金（子育て元気課） 450万円

体外受精及び顕微授精を行う夫婦に対し、1クールの治療あたり5万円を支給する。（年6回まで）

④出産祝金支給（子育て元気課） 1490万3千円

市内に分娩施設がなく、その経済的負担の軽減として、出産祝金6万円を支給。また、母子手帳の交付時にも5万円を贈る。総額11万円。

⑤こども医療費助成（市民課） 5681万7千円

県事業の医療費助成（一部負担金あり）に加え、市単独で18歳（高校生等）までの医療費を無償化。
※0歳児を除き、所得制限を設けている。

⑥子育て応援券交付（子育て元気課） 240万5千円

子どもが生まれた世帯に、3歳になるまで有料の子育て支援サービスに利用できる子育て応援券2万円分を贈る。

※利用できるサービス：保育所一時預かり・延長保育、ファミリーサポート、任意の予防接種など

⑦3歳児保育事業（管理課） 1278万7千円

市立幼稚園全園で、幼児期に基本的な生活など生活習慣を身に付けるため、3歳児保育を実施。

⑧市立幼稚園預かり保育事業（管理課） 749万9千円

4歳児、5歳児を対象に通常保育終了後17時00分まで、無料で預かり保育を実施。

⑨給食費無料化（学校教育課） 1億583万6千円

市立幼稚園、小学校、中学校で栄養バランスのとれた給食の提供と給食費の無料化。

※幼稚園：265円/食、小学校275円/食、中学校335円/食

⑩相生っ子学び塾事業（生活学習課） 359万8千円

児童の安全な放課後の居場所づくり、自学自習と基礎学力の向上を目的に、地域の人々や教員OBの協力のもと、小学5・6年生を対象に、国語、算数、英語などについて実施。

※国語・算数・英語：月3回程度、空き教室を利用。

※珠算：月3回程度、文化会館（小学4年生も対象）

⑪ワンピース・イングリッシュ事業（学校教育課） 2380万2千円

幼児期から中学校卒業まで、段階に応じた英語教育のため、総合的なプログラムを実施。

※ふれあい英語活動：専属FLTの配置。

※いきいき英語教育：コミュニケーションの向上。

※イングリッシュ・リーダース・トレーニング：教職員のスキルアップのための研修を充実。

※英検チャレンジ：市内小中学生の英検（4級以上）の検定料を半額補助。

※議会、市民等への理解を得るため、コスモストーク（市民対話集会）等を通じて説明。

○今後の課題と対応

目標：定住者を増やすこと

手段：動画や多媒体を活用したプロモーション活動の本格実施により、「相生市」そのものの認知度を上げる。今後もPRと分析の継続が必要だと考えている。

子育て応援都市「11の鍵」

(1)「11の鍵」

事業実施の動機、経緯、現状、課題、評価について

(2)「11の鍵」事業の予算規模について

(3)ワンピース・イングリッシュ事業については、幼稚園から中学校まで段階に応じた英語教育をとあるが、どのような体制で実施されているのか

(4)ワンピース・イングリッシュ事業で学べる環境づくりとあるが、その学べる場がどのくらいあるのか。また講師の確保をどうしているのか。

(5)給食費無料化事業の予算規模や実施後の声や見えてきたデメリットはあるか。

(2) 意見交換で感じたこと等

まとめ・感想

相生市は子育て支援に力を入れており、定住促進や子育て支援のための補助金やサービスを提供している。将来の人口減少を防ぐため、地域活力向上を目指して積極的な取り組みを行っている。今後は PR 活動と分析を続けて定住者を増やすことを目指している。

相生市の子育て支援と地域活性化に対する取り組みは一度「底」を見たからこそできたと考えられるが、とても深刻で大変だったと思われる。定住促進や子育て応援の施策が多岐にわたり、地域全体で子育てを支える仕組みが整備されているようだ。また、プロモーション活動の継続や分析を重視している点も良いと感じる。これらの取り組みが成功すれば、地域の未来に希望と活力をもたらすことができるだろう。

府中市も子育て応援「〇〇（数字）の鍵」等、わかりやすいキャッチコピーで市民や市外の方に PR すれば良いのと思いました。